

### 【第3回 佐賀県災害警戒対策本部会議】 8月30日

佐賀地方气象台／台風は、8時現在、大分県豊後高田市付近。最大風速20m、北東に約10kmで進行。18時には高松市付近に接近する予想。

唐津市に大雨警報を発出、沿岸海域の暴風警報は解除。

大雨の見通しは、31日6時まで150mm。暴風・高波は、陸上で15m、南部で15m、北部で20mと予想。

雨のピークは、お昼前まで。佐賀市、鹿島市、唐津市は、夜のはじめごろまでは要警戒。海上の風警報は解除する。波は注意報が、31日お昼過ぎまで継続。高潮警報は、出していない。

防災監／北部の沿岸部は、強い風が吹いている？

佐賀地方气象台／北部沿岸部の陸上は、注意報に変わった。

防災監／今夜まで土砂災害に警戒が必要ということか。

佐賀地方气象台／台風を取り巻く雨雲が、北から入り雨量が上がる。土砂の警報が出る可能性は高い。

事務局／9時現在の被害状況。

- ・人的被害は、いずれも軽傷が3人。みやき町90代女性、神埼市40代男性、佐賀市40代女性。
- ・物的被害は、佐賀市の牛舎、非住家1棟。佐賀空港場内フェンスの一部損傷。
- ・停電は、1,020戸。
- ・市町警戒態勢は、対策本部等の3次体制は6市町。警戒本部等の2次体制が2市町。情報連絡室等の1次体制が9市町。
- ・避難指示が3市町、6万1,818世帯、14万14人。
- ・高齢者等避難は、5市町、7万5,945世帯、18万4,107人が対象。
- ・避難所の開設は、11市町76か所。避難者数は173世帯229人。
- ・大雨警報・土砂災害が4市町。暴風警報は、唐津市、玄海町の海上。波浪警報は、すべて解除。

今後、唐津市に大雨警報・土砂災害が追加、暴風警報の2市町は解除の見込み。

九州電力／10時現在、停電は970戸。唐津市内750戸、玄海町130戸。鹿島市、小城市で90戸。唐津市内は、旧肥前町が420戸。小川島が40戸。

鹿島市、小城市の巡視は終わり、本日午前中に復旧の見込み。

唐津市、玄海町は、現場調査がほぼ終わり、順次復旧に取り掛かる。

小川島が未調査。チャーター船を調整中。波が収まり次第、島に渡る準備は完了。県内各地から現場に応援が入り、早期復旧を目指している。

地域交流部／7つの離島の状況を確認した。小川島を除き、公民館等に避難した人は、ほぼ自宅に戻った。現段階で、人的・物的被害はない。

今後も連絡を取りながらフォローする。

県土整備部／道路・河川とも施設の被害はない。

有明海沿岸道路直轄区間は、5時に通行止めを解除。本省区間は、6時に解除。虹の松原の通行止めは継続中。巡視後、開放したい。

それ以外の道路は、6時からパトロールし清掃活動も始めた。

北部沿岸、唐津から玄海、伊万里地区は、雨が降り続けている。水位も徐々に上昇。増水等に気をつけてほしい。

農林水産部／物的被害は、非住家の牛舎。台風による強風が原因とのことでリストに挙げた。今後、出火原因が調査される。

農業関係の被害状況は、大豆の圃場で、一部浸水や倒伏・半倒伏。園芸ハウスの破れ。梨の落下。今後、被害規模の詳細な調査を実施する。

多良岳オレンジ街道の通行止めは、昨日18時30分に解除した。

地域交流部／佐賀空港のフェンスの一部損傷による、飛行機の運行への影響はない。警備員を立て対応し、天候の状況を待ち応急復旧を行う。

- ・佐賀空港発着の羽田便は、16時15分羽田発456便と18時50分佐賀発458便が運航予定。その他は欠航。上海便も欠航。31日の6時40分発452便も欠航。
- ・鉄道は、新幹線、特急、普通列車、すべて始発から運転見合せ中。点検後、本数を減らして徐々に運転を再開する方向。
- ・バスは、一部検討中の路線を除き、始発から運行見合せ中。安全を確認後、一部再開を検討するとのこと。

健康福祉部／在宅で人工呼吸器を使用している家庭の被害報告はない。病院、高齢者・障害者施設の被害もない。

教育委員会／本日は、公立学校と私立学校が、すべて休校。学校関係の被害報告はない。

防災監／風・雨のピークは過ぎた。ただ、沿岸部の風雨への警戒は、まだ必要だ。

人的・物的の大きな被害がなく、幸いだった。今後、経済活動の被害は出てくる。関

係部局は、引き続き対応をお願いする。台風が遅く、警戒した。今後とも、情報収集と連絡を受ければ即応できるようお願いする。